

## 1月7日：ベトナム株は5日続伸

市場平均を上回った優良株の上昇を背景に、主要指標のVN指数は1.16%高の終値1,156.49ポイントで引けた。

VN指数が算出されるホーチミン市場では、幅広く買われ302銘柄が上昇、142銘柄が下落した。前日比で売買高はわずかに減少し、売買代金は17兆ドン（7億3432万USドル）だった。

一方、直近5日間でVN指数は58.95ポイント（5.3%）上昇し、ベトナム経済見通しは良くなるとマクロ経済白書は記した。

ロンドンに拠点を置く情報会社IHSマークイットの最新報告書によれば、製造業の状況を計る指標である購買担当者景気指数（PMI）は、11月の49.9ポイントから12月51.7ポイントへ改善した。

※PMIは、新規受注、在庫状況、生産高、供給状態、雇用といった5つの主な測定基準に基づく。

「12月のPMIでベトナム経済が過去4か月間で3回の回復したことを示した」（IHSマークイットの最新報告書）。※PMIは50を上回ると景気拡大を示し、50を下回ると景気減速を示す。

時価総額上位30銘柄で構成されるVN30指数は1.51%高で、上昇が23、下落は4銘柄だった。

ノバランド不動産投資グループ（NVL）が、ストップ高（+6.9%）。

商業銀行の上昇が最も目立った。HDバンク（HDB）+4.5%、テクコムバンク

（TDB）+4.2%、サコムバンク（STB）+2.5%、VPバンク（VPB）+1.5%と上昇だった一方で、エクシムバンクは2%安と最も下げた。

国営銀行株も堅調で、預かり資産トップスリーではベトインバンク（CTG）+2.6%、ベトナム外商銀行（VCB）+1.9%、ベトナム投資開発銀行（BID）+0.2%と買われた。軍隊商業銀行（MBB）も2.4%上昇した。

他には、マッサングループ (MSN) +4.2%、ペトロベトナムガス (GAS) +2.5%、リー冷蔵電気工業 (REE) +2%、ホアンファイ投資金融サービス (TCH) +1.4%と高い。

ビンググループ関連銘柄は他の銘柄と比べて、冴えなかった。ビンググループ (VIC) が +0.1%、ビンホームズ (VHM) は変わらず、一方ビンコム・リテール (VRE) は +2.1%だった。

サイゴンビール・アルコール飲料総公社 (SAB) とモバイル・ワールド・インベストメント (MWG) はともに 0.4%下落。

圧倒的に相場が強いにもかかわらず、バオベト証券 (BVSC) は、VN 指数は今後調整する可能性があり、市場に流入する豊富な資金は過熱感のサインであり、多くの銘柄はこの点で買われすぎかもしれないと指摘。

ハノイ市場では中小型株中心の HNX 指数が+2.08%だった一方で、未上場市場の UPCoM 指数は+0.75%だった。

外国人投資家は、(ホーチミン、ハノイ、UPCoM の) 3 市場全てで合計 3400 億ドルを売り越し、終値変わらずのホアファットグループ (HPG) と、終値 0.7%高のベトキャピタル証券 (VCI) に最も売りが集中した。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。